

2 工業用水道事業

(1) 事業数及び施設の状況

13年度の事業数は、前年度と同様の3事業である。

年間総配水量は、1億4,366万 m^3 で、前年度(1億4,448万 m^3)に比べ111.6万 m^3 (0.8%)減少した。

契約水量は、42.3万 m^3 で、前年度とほぼ同様の水量である。

契約率は、89.5%で前年度(89.3%)に比べ0.2ポイント増加した。

施設利用率は、83.2%で前年度(83.6%)に比べ0.4ポイント減少した。(第1表)

第1表 施設及び利用状況の推移

項目	年度	平成13年度	平成12年度	差 引	対前年増減率(%)
				-	(/ -1) × 100
年間総配水量(千 m^3)	A	143,366	144,482	1,116	0.8
1日平均配水量(千 m^3)	B	393	395	2	0.5
配水能力(千 m^3 /日)	C	472.4	472.4	-	-
契約水量(千 m^3 /日)	D	423	422	1	0.2
有収水量(計量分)(千 m^3)	E	142,598	142,598	0	0.0
給水事業所数	F	36	36	-	-
施設利用率 B/C (%)	G	83.2	83.6	0.4	-
契約率 D/C (%)	H	89.5	89.3	0.2	-
有収率 E/A (%)	I	99.4	98.6	0.8	-
事業数		3	3	0	0

(2) 収益的収支の状況

経常収益は、38億20百万円、経常費用は、36億44百万円となっており、経常収支比率は、104.8%と前年度(106.0%)に比べ1.2ポイント減少したが、前年度に引き続き収支均衡点を上回った。

経常利益を生じた事業数は、前年度と同様の2事業で、その額は、1億97百万円と前年度(2億47百万円)に比べ50百万円(20.2%)減少した。経常損失を生じた事業数は前年度と同様1事業で、その額は、21百万円と前年度(32百万円)に比べ11百万円(34.4%)減少した。

累積欠損金及び不良債務を有する事業は前年度と同様になく、工業用水道事業は全体として黒字基調を保っている。(第2表)

第2表 工業用水道事業の経営状況

(単位：百万円、%)

項目		年度		差 引 -	対前年増減率 (/ -1) × 100
		平成13年度	平成12年度		
経常収益 A		3,820	3,824	4	0.1
うち営業収益 B		3,820	3,780	40	1.1
経常費用 C		3,644	3,609	35	1.0
差引 (A - C) D		176	215	39	18.1
Dの内訳	経常利益 E	197	247	50	20.2
	経常損失 F	21	32	11	34.4
累積欠損金 G		-	-	-	-
不良債務 H		-	-	-	-
赤字等の事業数	経常損失を生じた事業数	1	1	-	-
	累積欠損金のある事業数	-	-	-	-
	不良債務のある事業数	-	-	-	-
対営業収益比率	経常損失 F / B	0.5	0.8	0.3	-
	累積欠損金 G / B	-	-	-	-
	不良債務 H / B	-	-	-	-
全体事業数		3	3	-	-
経常収支比率		104.8	106.0	1.2	-

(3) 資本的収支の状況

資本的支出は、19億13百万円で、前年度（27億94百万円）に比べ8億81百万円（31.5%）減少した。

支出の内訳は、建設改良費が6億91百万円で、前年度（18億02百万円）に比べ11億11百万円（61.7%）減少し、支出全体の36.1%を占め、企業債償還金が12億09百万円で前年度（9億78百万円）に比べ2億31百万円（23.6%）増加し、支出全体の63.2%を占めている。

資本的支出に対する財源は、企業債等の外部資金が10億11百万円で、前年度（17億34百万円）に比べ7億23百万円（41.7%）の減少、損益勘定留保資金等の内部資金が9億2百万円で前年度（10億60百万円）に比べ1億58百万円（14.9%）減少した。（第3表）

第3表 資本的収支の状況

（単位：百万円，%）

項目	年度	平成13年度	平成12年度	対前年 増減額 -	対前年 増減率 / (-1)×100	構成比	
						平成13年度	平成12年度
資本的支出	建設改良費 A	691	1,802	1111	61.7	36.1	64.5
	企業債償還金 B	1,209	978	231	23.6	63.2	35.0
	Bのうち建設改良のための企業債償還金 C	1,209	978	231	23.6	63.2	35.0
	その他 D	13	14	1	7.1	0.7	0.5
	計 (A + B + D) E	1,913	2,794	881	31.5	100.0	100.0
上 記 財 源	内部資金 F	902	1,060	158	14.9	47.2	37.9
	外部資金 G	1,011	1,734	723	41.7	52.8	62.1
	Gのうち企業債 H	937	1,305	368	28.2	49.0	46.7
	うち他会計繰入金 I	0	0	0	-	-	-
	計 (F + G) J	1,913	2,794	881	31.5	100.0	100.0
財源不足額 (E - J) K	0	0	0	-	-	-	
三年度許可債で未借入又は未発行 L	0	0	0	-	-	-	
実質財源不足額 (K - L) M	0	0	0	-	-	-	

(注) 1. 内部資金=補てん財源合計額-前年度からの繰越工事資金+固定資産売却代金

2. 外部資金=資本的支出額-(内部資金+財源不足額)

3. 「実質財源不足額」とは、当該年度許可債で未借入又は未発行のもののうち、支出済として決算された事業費に対応する分を控除した場合の不足額である。

(4) 給水原価及び料金の状況

給水量 1 m³当たりの給水原価は、26 円 83 銭で、前年度(23 円 50 銭)に比べ 3 円 33 銭(14.2%)増加した。

給水原価の内訳をみると、減価償却費及び支払利息の資本費が 11 円 82 銭と前年度(10 円 11 銭)に比べ、1 円 71 銭(16.9%)増加し、給水原価の 44.1%を占めている。また、職員給与費の給水原価に占める割合は、23.2%と、前年度(23.4%)に比べ 0.2 ポイント減少した。

1 m³当たりの供給単価は、24 円 59 銭で前年度(24 円 48 銭)に比べ 11 銭(0.4%)増加しており、これを給水原価と比べた場合、2 円 24 銭供給単価を下回っている。(第 4 表)

第 4 表 給水原価(1 m³当たり)の推移

(単位：円，銭)

区 分		年 度		
		平成13年度	平成12年度	
給水原価	資 本 費	11.82	10.11	
	うち [減 価 償 却 費	7.67	6.14
		支 払 利 息	4.15	3.97
	職 員 給 与 費	6.22	5.49	
	費 用 総 額 A	26.83	23.50	
指 数 前年度 = 100	資 本 費	116.91	76.59	
	職 員 給 与 費	113.30	92.74	
	費 用 総 額	114.17	88.41	
	供 給 単 価 B	24.59	24.48	
	B - A	2.24	0.98	
	B / A (%)	91.7	104.2	

(注) 1 費用総額 = 経常費用 - (受託工事費 + 付帯事業費 + 不用品売却原価)

2 資本費 = 減価償却費 + 支払利息 + 受水費中の資本費